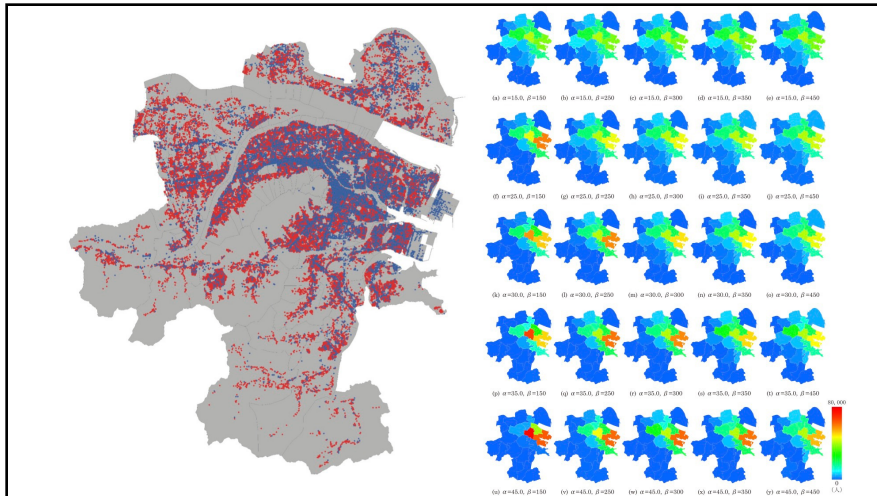


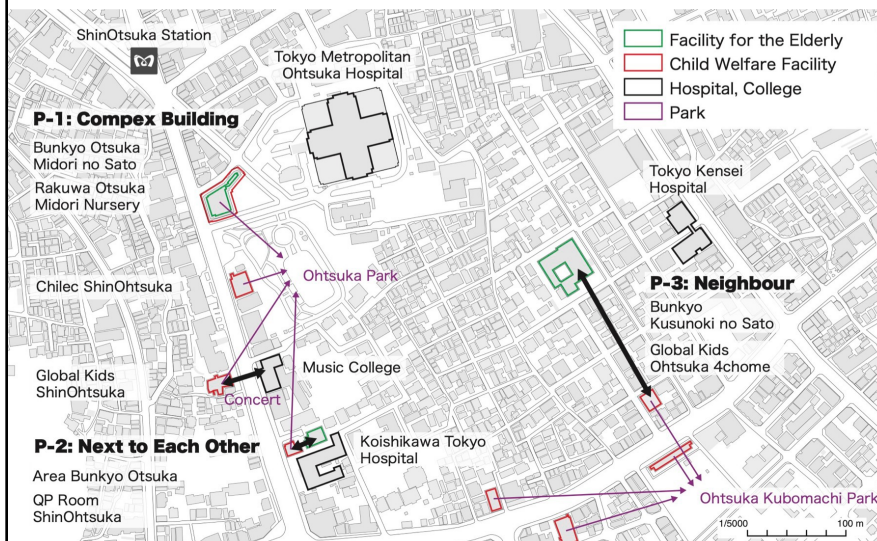
複合化する建築・都市空間を解剖する

キーワード[建築設計, 建築計画, 数理デザイン]

准教授 宗政 由桐



▲ コロナ禍等による移動量の変化に伴う職住最適配置のシミュレーション



▲ 高齢者施設と保育施設の立地パターン

日常生活における私たちの行動や再開発等による建築・都市空間の変容は、自由な意思決定によって行われていると考えられていますが、実は無意識による見えないバイアス等によって拘束されているものもあります。人間は理性的で合理的な判断を行い、都市はモノの流動量によって形成されるという仮定では、都市の発展・衰退のメカニズムは説明できません。これら背後に隠れた見えない構造を、様々なデータによって明らかにしようとしています。

昨今は様々な機能が含まれる複合施設が、官民を問わず多く建てられるようになってきました。その中でも特に、高齢者施設と子ども施設が一体となった全国の建築物のデータベースを構築し、実地調査を行なっています。少子化・高齢化社会に突入したわが国において、持続可能な多世代共創社会を実現するためのヒントが、高齢者と子どもの関わりの中に潜んでいると考えています。

建築分野の強みでもあり、弱みでもあるのが、同じ建築物は2つとしてないということです。実際の空間を調査し、より良い空間としていくためには何が必要なのかを、これからも明らかにしていきたいと考えています。

分野: 建築学
専門: 建築設計, 建築計画, 数理デザイン

E-mail : munemasa@yz.Yamagata-u.ac.jp
Tel : 0238-26-3120

HP : <http://munemasayuki.com/>

